

報道関係者各位

2018年11月8日

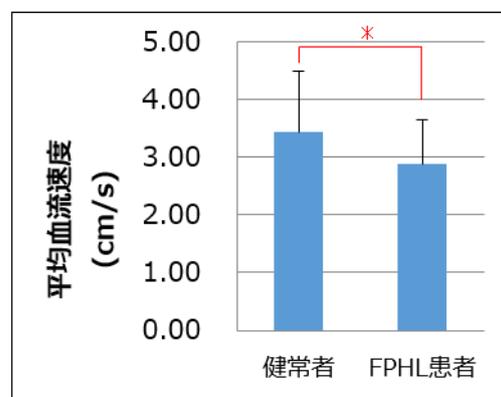
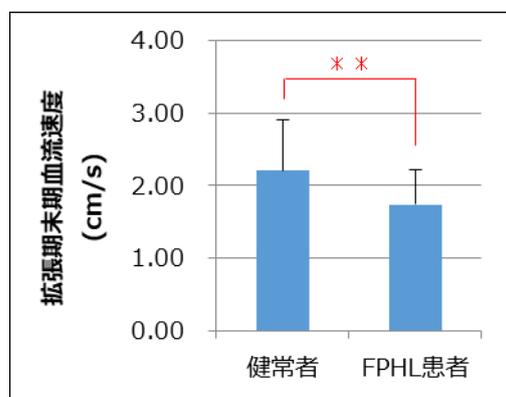
＜アンファー・ウィメンズヘルスクリニック東京 共同研究結果レポート＞
日本初*「女性の薄毛の一因は血流の低下」を証明
 ～保湿による頭皮環境の改善も重要～

*アンファー調べ

ウィメンズヘルスクリニック東京（所在地：東京都千代田区、院長：浜中聡子）とアンファー株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役：三山熊裕）は共同で、「女性の薄毛と頭皮の血流の関連性に関する研究」を実施いたしました。「血流の低下が薄毛の一因となる」ということは、長年考えられてきましたが、この度の研究で、**女性の薄毛の一因は「頭皮の血流の低下である」ことの実証データを導き出すことに、日本ではじめて成功**いたしました。

研究結果**薄毛の女性は健常毛の女性に比べ、頭頂部の血流が有意に低い**

頭皮の血流が悪いと、髪の毛の成長に必要な栄養素が毛根に行き渡らず、その結果、薄毛の原因になることは長年言われ続けていましたが、それを証明する臨床研究は殆ど行われてきませんでした。しかし、今回、女性型脱毛症（FPHL）と診断された女性（薄毛の女性）25名と、毛髪が十分豊富な女性（健常毛の女性）25名の頭頂部の細動脈の血流を測定したところ、**FPHLの女性の方が血流が低い**ということがわかり、**女性の薄毛と血流の関係性が実証**されました。

**調査方法**

- ・女性型脱毛症（FPHL）と診断された女性25人と毛髪が充分豊富な女性25人（40代・50代）
- ・スカルプエコー装置(キャノンメディカル社製 Aplio800・リニアプローブ24MHz)での浅側頭動脈および頭頂部細動脈の血流測定
- ・カラードプラで毛細血管レベルの血流パターンを評価



ウィメンズヘルスクリニック東京 院長 浜中聡子

今回の研究は従来より指摘されてきた「血流と薄毛の関係性」について、様々な方々のご協力のもと、日本で初めて臨床データを用いた実証に成功いたしました。当クリニックでは、この結果を女性型脱毛症の新しい診断基準の作成や治療方針の選択に役立てるとともに、頭皮の血流量を増加させる薬剤の開発および導入に向けて、更なる研究を進めてまいります。



アンファー株式会社 商品開発部 シニアフェロー 波間 隆則

女性型脱毛症の原因や治療は男性型脱毛症ほど確立しておらず、予防方法についても玉石混交です。女性型脱毛症を未然に防ぐ方法を探る中で頭皮の血流の低下が一つのトリガーになっているという仮説にたどり着き、今回の研究実施に至りました。

「予防医学」をタグラインに掲げているアンファーとして、今後も女性型脱毛症になる前に防ぐ方法を導き出せるよう使命感を持って研究や事業を進めてまいります。



■血流を改善させるために自宅で行えること

(1) **有酸素運動**：抹梢の血流をよくすることで頭皮の環境を整えることに繋がります。1日20分を目安に、汗ばむ程度の運動を取り入れることをおすすめします。

(2) **禁煙**：喫煙は毛細血管を収縮させ、血流を悪化させてしまいます。喫煙している方には、身体の健康に加えて、髪のためにも、禁煙をおすすめします。

また、一般に広く知られている「頭皮マッサージによる血流改善」については、現状、女性型脱毛症予防の効果を実証するデータや研究はありませんが、今後、ウィメンズヘルスクリニック東京とアンファーでは、マッサージと血流に関する研究・調査を重ねたいと考えています。

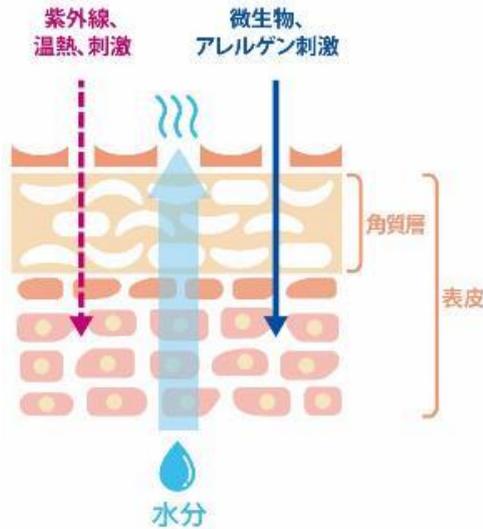
■専門クリニックで受けられる頭髪治療

ウィメンズヘルスクリニック東京では、頭皮の血流を改善させるため、血管拡張作用がある「ミノキシジル」という成分を中心とした薬での治療を行っています。「ミノキシジル」は、2017年に日本皮膚科学会から発表された「男性型および女性型脱毛症診療ガイドライン2017年版」でも、「推奨度A」「ミノキシジル外用を行うよう強く勧める」と記載されています。クリニックでは、医師の監修のもとミノキシジルを高濃度で配合した外用薬も処方可能なため、市販の発毛剤よりも早く効果が現れやすいというメリットがあります。また、クリニックでは薬剤を用いた治療の他にも、ライフイベントを考慮した生活習慣に関するアドバイスも行い、一人ひとりに合った最適な治療をご提案させていただきます。

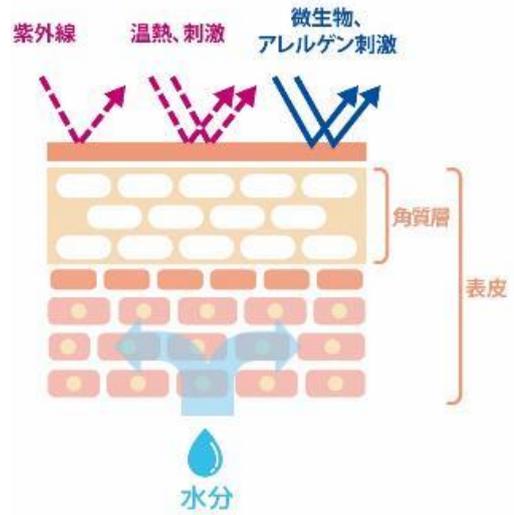
■保湿による頭皮ケアも重要

ウィメンズヘルスクリニック東京に通う、薄毛に悩む女性の約15%が、乾燥による頭皮の炎症やフケ、頭皮の突っ張りに悩んでいます。このような頭皮環境の乱れは、頭皮のバリア機能を減少させ、薄毛を誘発する可能性があります。そこで、頭皮の血流改善とともに、「頭皮の保湿」も健やかな髪を育むための重要な鍵となります。

乾燥によるトラブルを抱えた頭皮



健やかな頭皮



■ウィメンズヘルスクリニック東京オリジナル「頭皮用保湿液」の取扱いを開始

11月28日(水)よりウィメンズヘルスクリニック東京にて、独自に企画開発した「頭皮用保湿液」の取扱いを開始し、頭皮の潤いアプローチいたします。本商品は勇心酒造株式会社が製造する「ライスパワー®No.11」(コメエキス:保湿成分として)を配合した日本初の「頭皮用保湿液」です。単に肌表面を保湿するだけでなく、健康な皮膚が持つ水分を保つ力を維持するように働きかけます。健やかな頭皮環境を維持するためには、顔や身体同様、「頭皮も保湿ケアする」ことを毎日の習慣に取り入れることが重要です。

商品名: 頭皮用保湿液 取扱い開始日: 2018年11月28日(水)

金額: 3,250円(税抜)/3,510円(税込) 容量: 60mL 男女兼用

使用方法: 乾燥が気になるときに、ノズルから頭皮に直接適量を塗布し、指でなじませる

※ウィメンズヘルスクリニック東京をはじめ、
全国のヘアメディカルグループクリニック限定



予防医学のアンファー

アンファー株式会社は、1987年に会社設立。「予防医学」をタグラインに掲げ、“「いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を支援すること。”という企業理念のもと、すべての人々に「美」と「健康」の提供を目指すトータルエイジングケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」シリーズをはじめ、化粧品、食品等、様々なエイジングケア商品・サービスの企画・研究開発および販売を行っております。

ウィメンズヘルスクリニック 東京

ウィメンズヘルスクリニック東京は、ヘアメディカルグループに所属し、女性ホルモンを中心とした「ホルモンバランス」に着目した女性医療を提供するクリニックです。薄毛治療や美肌治療、点滴療法や更年期障害に対するホルモン補充療法など、女性の健康をトータルサポートする治療をおこなっています。

※ヘアメディカルグループとは、月間*16,650名が来院する頭髪治療専門クリニックグループです。現在、東京、大阪、名古屋、福岡にクリニックを設置しています。

*2017年7月～12月平均稼働数

名称 医療法人社団ウェルエイジング ウィメンズヘルスクリニック東京

診察科目

- ・女性頭髪専門外来
- ・女性更年期外来
- ・美肌外来
- ・注射・点滴外来

検査項目

- ・からだエイジングドック
- ・ストレスドック
- ・ホルモンドック

その他

- ・メディカルアートメイク
- ・併設提携サロン（来院患者様限定サービス）

院長 浜中聡子



国際アンチエイジング医学会専門医
米国抗加齢医学会専門医
日本抗加齢医学会専門医



所在地 東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 10F

<本件に関するお問い合わせ先>

ウィメンズヘルスクリニック東京広報代行 株式会社プラップ ジャパン 小阪・堅山・高橋
TEL : 03-4580-9103 FAX : 03-4580-9129 E-mail : clinic-pr@ml.prap.co.jp

<ウィメンズヘルスクリニック東京に関するお問合せ先>

ウィメンズヘルスクリニック東京 広報担当 坂村 TEL : 080-3368-7491
E-mail : m-sakamura@womenshealth-tokyo.com

<アンファーに関するお問い合わせ先>

アンファー広報担当 外園 TEL 03-3213-8882 E-mail : pr1@angfa.jp